

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 212 2009年10月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

核兵器廃絶署名を進める土浦地域連絡会結成

日本原水協は2010年の国連軍縮会議に向けて、核兵器廃絶1,200万署名を呼びかけています。茨城県原水協もこれに答えて30万署名を決定しました。土浦地域でもこの運動を具体化していく行動体が求められています。さる10月10日(土)午前、土浦と阿見の7市民団体が会合して協議した結果「核兵器廃絶1,200万署名を進める土浦地域連絡会」が結成されました。

参加したのは土浦平和の会、新婦人土浦支部、年金者組合土浦支部、保健生協土浦支部、土浦革新懇、土浦労連、阿見平和の会の7団体代表です。この署名運動にはその他に個人として参加を表明してくださった方も数人あります。各団体から責任者を選出して事務局を構成することになりました。連絡会の運動期間は2010年国連軍縮会議の開催される5月まで7ヶ月間です。

核兵器廃絶を具体的な目標として実現するための歴史的な軍縮会議に向けて、人口の1割を目標とする署名運動は従来の希望的、願望的な運動から実現可能な現実的な運動となってきました。米ロ2大国が「核兵器のない世界」を目指すことに同意したいま、何時までに実現できるのかを協議する段階にきています。イラン、北朝鮮への核拡散が世界の脅威となっている現在、これを止める方法は一方的な禁止圧力ではなく、廃絶への国際的な合意意外に有りません。核廃絶を遙かかなたの遠い未来まで引き伸ばすことは許されません。世界平和市長会議は2020年までの完全核兵器廃絶を提唱しています。

土浦市長「平和市長会議」参加へ

土浦市の9月議会において、日本共産党久松猛議員の提案に答えて、平和市長会議への加入手続きをとることを表明しました。平和市長会議は1983年広島市長の提唱によって結成され、核兵器廃絶の運動に大きく貢献してきたものです。現在世界134カ国、3,104都市が加盟し、国内では388都市、茨城県でも11都市が加盟しています。

秋の宣伝行動

「核兵器廃絶」「憲法を守れ」秋の全県宣伝行動は10月5日水戸南部地域を皮切りに11月14日までの予定で行なわれます。県南地域では11月1日からの宣伝カーと宣伝ビラの行動を予定していますが、詳細な日程等は未定です。

憲法九条守ろう！10・21県南大集会

日時 10月21日(水) 18:00~

場所 つくば市竹園公園

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています
平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

「いのちの重さ」 澤地久枝講演から

石岡地域九条の会結成3周年記念講演会

「妻たちの二・二六事件」で作家デビュー、ミッドウエー海戦の実態に迫った「滄海よ眠れ」「記録ミッドウエー海戦」など戦争の悲惨な実態を書き続けている作家澤地久枝さんが、「いのちの重さ」と題して講演しました。

大岡昇平の「レイテ戦記」を読んだとき、自分ではレイテまで踏み込むつもりも無かったのだが、レイテで亡くなった何人かの家族に出会って、レイテに行くことになった。レイテ戦が行なわれたとき大岡昇平はミンドロ島で任務についていたが、そこでマラリアに罹り、米軍が上陸してきて、日本軍が退却するとき見捨てられてしまった。米兵と対面して銃を構えて引き金を引こうとしたが、運よく米兵は別のほうに行ってしまったため、引き金を引かないですんだという。レイテ戦で8万7千人の日本軍は97パーセントが戦死し、3パーセントだけしか生き残れないという凄惨な戦いであった。ルソン島でマッカーサーが戦争終結を宣言したとき、何万人の日本軍が残っていたが食料は無かった。「野火」には密林の中で食料も無く、仲間の肉を食べた話が出てくる。貧しい人たちが戦争に取られて、どこで死んだかわからない。戦争というのはこのようなものだ。

満州では関東軍司令部は敗戦時にまず自分の家族を日本に帰した。残された人たちは絶望的な逃避行を余儀なくされたが、その途中で母を殺し、子を殺し、見捨てて逃げ惑った。帰ってこない身内を待っている家族がいる。このような戦争を今の若い人に分からせるのは難しい。価値観が多様化し、モラルがなくなっている。自分ではかせぐこともできないのに高級車を乗り回し高価なアクセサリーを飾っている若者がいる一方で、日比谷公園の派遣村でやっと食事でありつく人がいる。すばらしい憲法を持っているこの国の将来はどうなるのだろう。

日本は戦後60年以上戦争をしていない。憲法を変えて戦争をできるようにしたい人がいる。改憲をしないで戦争ができる方法を考えた。それが「国民投票法案」です。

小田実さんは死ぬまで市民運動の先頭に立って歩いてきた。彼は言いました。「大きな人間と小さな人間がいる。大きな人間は経済を動かしたり、戦争をしたりする。小さな人間は引っ張られていく。」これから日本がアメリカの言いなりになって、戦争に引き込まれていったらどうなるのか。しかし、小さな人間が「戦争はいやだ」と言ったら戦争はできない。どんな困難があっても、「これが私の人生だ」と決心したら怖いものは無い。

私たちのまわりには童話の会や詩の会や歌の会などたくさんある。小さな会で「戦争はいやだ」ということを語ればいい。お父さんの人生、お母さんの人生を語ってもらえばいい。身内の人はどうして死んだのか、どんな学校に行ったのか調べてみればいい。学ぶこともできなかった人、医者にもかかれなくて死んだ人。日本がどんなに命を粗末にしてきたのか分かる。若い人たちに「戦争を体験しよう」と言ってもできない。若い人の中に眠っている気持ち呼び覚ますことが大切でしょう。

井上記

活動ごよみ

| | | | |
|-------|-------------------|-------|------------------|
| 10・3 | 澤地講演会（石岡市民会館） | 10・20 | 土浦平和の会理事会（コープ土浦） |
| 10・10 | 核兵器廃絶署名連絡会（コープ） | 10・21 | 県南地域大集会（つくば竹園公園） |
| 10・12 | 反核フォグジャポリー（ゆかりの森） | 10・24 | 土浦駅核廃絶署名統一行動 |
| 10・18 | 茨城県母親大会（竜1高） | | 核廃絶署名連絡会（コープ土浦） |

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください